

NEWS RELEASE



関西国際空港株式会社

経営戦略室広報グループ

TEL : 072-455-2201

FAX : 072-455-2052



KANSAI
INTERNATIONAL
AIRPORT
CO., LTD.

2007年(平成19年)4月25日

「関西空港水素ステーション」のオープンについて

この度、海上アクセス地区において、水素ガスの供給スタンドとして「関西空港水素ステーション」がオープンします。

水素エネルギーは環境に優しい次世代の究極のクリーンエネルギーとしてその普及が期待され、実用化を目指した実証実験が、国の支援の中で行われています。

国の実証実験プロジェクトにおいては、全国9ヶ所で運用・実験が現在行われていますが、関空で実験を行う水素ステーションの特徴は、水素ガス利用の黎明期を想定し、大規模なものではなく、小型のステーションを需要に応じて増設できるという拡張性の高さにあります。水素ステーションでは、水素燃料自動車や燃料電池自転車に水素を充填し、実運用にあたっての各種データ収集を行う予定であり、平成22年までの約4年間実証実験を行います。

この水素ステーションの完成を祝い、5月7日に下記のとおり開所式・見学会・試乗会を開催いたしますので、是非ご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

記

日時 : 平成19年5月7日(月) 11:00 ~

場所 : 関西空港水素ステーション(海上アクセス地区; 詳細は別紙参照)

主催 : 岩谷産業株式会社(ステーションの建設・運用等)
関西国際空港株式会社(モニタリング等)

内容 : 10:30 ~ 受付開始

11:00 ~ 開所式

主催者の挨拶 (岩谷産業(株)社長、関西国際空港(株)会長)

来賓の挨拶 (近畿経済産業局資源エネルギー環境部次長、(財)エンジニアリング振興協会専務理事)

テープカット (近畿経済産業局資源エネルギー環境部次長、(財)エンジニアリング振興協会専務理事、おおさかFCV推進会議会長、岩谷産業(株)社長、関西国際空港(株)社長)

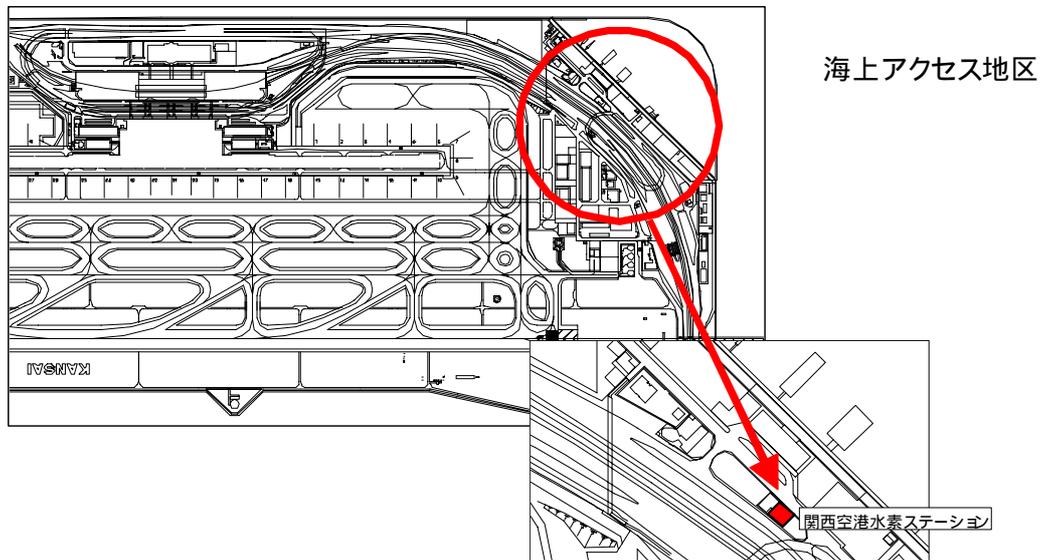
水素ガス充填セレモニー (岩谷産業(株)社長、関西国際空港(株)社長)

11:30 ~ ステーション見学会

水素燃料自動車試乗会

関西空港水素ステーションの概要

【所在位置】



【ステーションの概要】

施設設置者 (財)エンジニアリング振興協会

施設建設者、管理・運営者 岩谷産業株式会社

(本社：大阪・東京、社長：牧野明次、資本金：200億円)

敷地面積 約460m²

貯蔵能力 高压水素ガス 約300m³ (貯蔵圧40MPa)

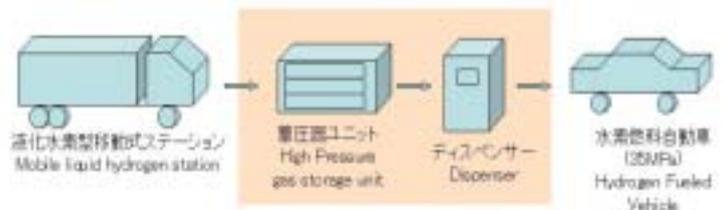
供給能力 FCV (燃料電池自動車 1~2台分/回)(充填圧 35MPa)

関西空港水素ステーションへの水素は、島外の水素製造所から運搬供給。

関西空港水素ステーション全景



水素ステーションの初期構成



【関西空港でのモニター車両の概要】

水素燃料自動車 Mazda RX-8

エンジン : 水素ロータリーエンジン
燃料 : 水素 (最高充填圧力35MPa 110リットル)
(容量) ガソリン(無鉛プレミアムガソリン 61リットル)
最高出力 : 水素使用時 80KW (109PS)
ガソリン使用時 154KW (210PS)
航続距離 : 水素使用時 100Km
ガソリン使用時 594Km

水素燃料電池アシスト自転車 (平成19年度後半導入予定)



水素燃料電池アシスト自転車